

2/OS

classios

JNode

Lisp Operating System

LynxOS

SONY NEWS

BANYAN VINES

DASCOM AD

Operating System Maniacs

Version 7.0

Operating System Maniacs Ver7.0 Content

| | |
|--|----|
| マイナーOS駆け足レビュー(7) | 3 |
| 1.本稿の目的 | 3 |
| 2.本稿の環境 | 3 |
| 3.各項目の詳細について | 3 |
| 4.補足事項 | 4 |
| 5.マイナーOS駆け足レビュー | 5 |
| 1.2/OS | 5 |
| 2. classios | 12 |
| 3. JNode | 14 |
| 4. Lisp Operating System | 15 |
| 5. LynxOS | 16 |
| マイナーOSコレクション | 22 |
| 1.SONY NEWS | 22 |
| 2.BANYAN VINES | 22 |
| 3.DASCOM IntraVerse WebStarter | 24 |
| 4.東芝 日本語UX/386 基本部 | 25 |
| 5.EPSON PC-286シリーズ用日本語Disk BASIC | 27 |
| マイナーOS関連 活動紹介 | 28 |
| 既刊のご案内 | 29 |
| 原稿募集要項 | 32 |
| 編集後記的な | 33 |

マイナーOS駆け足レビュー(7)

立神梢一

すっかり連載企画になっているマイナーOS紹介の第7弾をお届けします。
x.5号をはさんでいたら号数と回数が一致したので今後は一致させたいなあ。

1.本稿の目的

毎号同じことを書いていますが、本稿の目的を明確にするために記載します。

まず、マイナーOSと一口に言っても、いろいろな分類があります。商用で発売されていたがシェア争いに敗れ、以降開発がストップしたりしてマイナーとなってしまったもの、歴史的経緯でなくなってしまったもの、元から個人開発だったり、技術系の大学のゼミなどで作成されたもので、元からマイナーであったもの、商用で使用されているが絶対数は少ないもの、民生品としては使用されないため一般的にはマイナーなもの、などです。

本稿では基本的にToyOSと呼ばれるものを中心に扱うことが多いですが、ToyOSというには発展している物、あるいは古い物とは言え、商用OSや試用版も混じっていることもあります。

基本的にはマイナーなOSについての起動や導入についてを中心に紹介していきます。

2.本稿の環境

本稿は全て、以下の環境で行いました

なお、古いものをテストする際には実機を用いるケースもありますが、実機を使うような場合は時間をかけて行うので、この原稿ではなく単体OSで記事にすることになると思います。

3.各項目の詳細について

基本的に、各OSについては以下のようにまとめています。

1. OS名
2. あればURL(オフィシャルサイトやsourcefargeなど)
3. スクリーンショットと簡単な当方のコメントなど

という流れでご紹介していきたいと思います。

スクリーンショットは基本的にモノクロに変換しております。元がカラーのものなどは個別にコメントをつけたいと思います。

また、黒地に白文字で表示されるものが殆どですが、全て白黒を反転させています。黒ベタが多いと印刷にあまり綺麗に出ないと思われるためです。

4.補足事項

前回もご紹介していますが、各OSのオフィシャルサイトはもちろんなのですが、現在のマイナーOSというか、ToyOSについては、その殆どが、SourceforgeとGoogle Codeを追いかけることで、大体のものは発見することが出来ると思います。

sourceforge

<http://sourceforge.jp/> (日本)

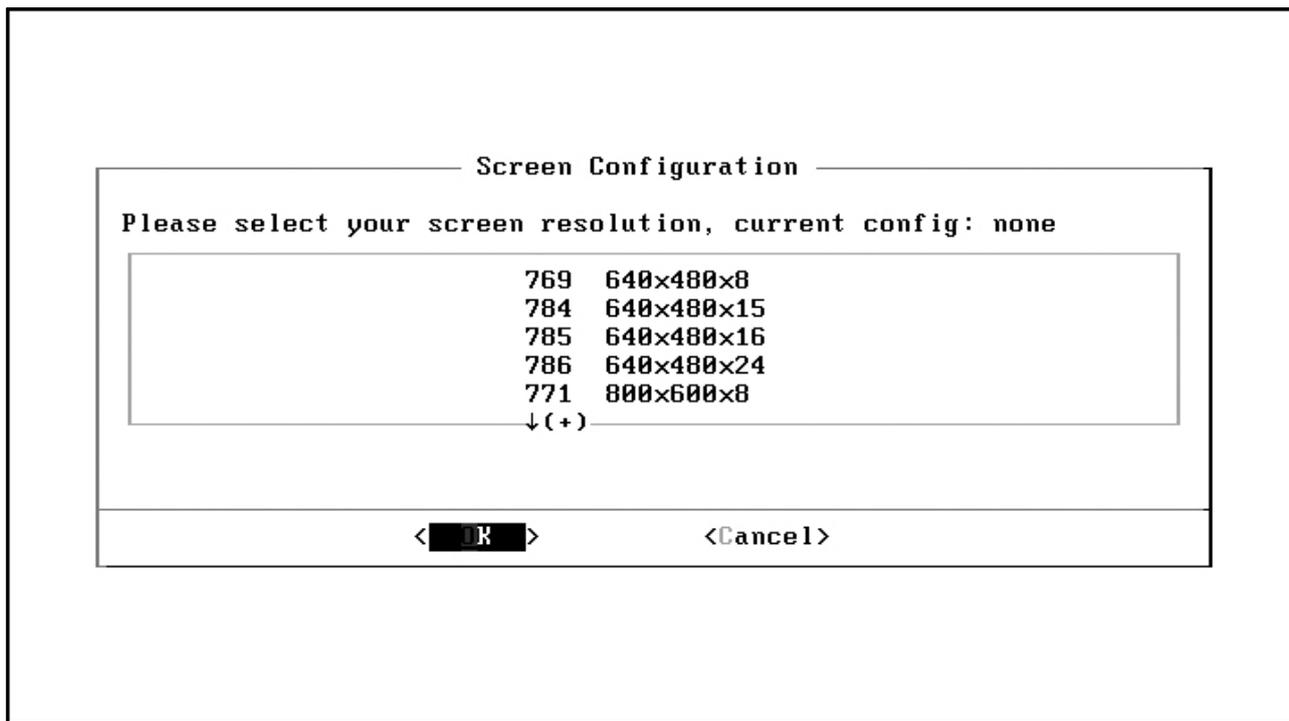
<http://sourceforge.net/> (米国)

GoogleCode

<http://code.google.com/>

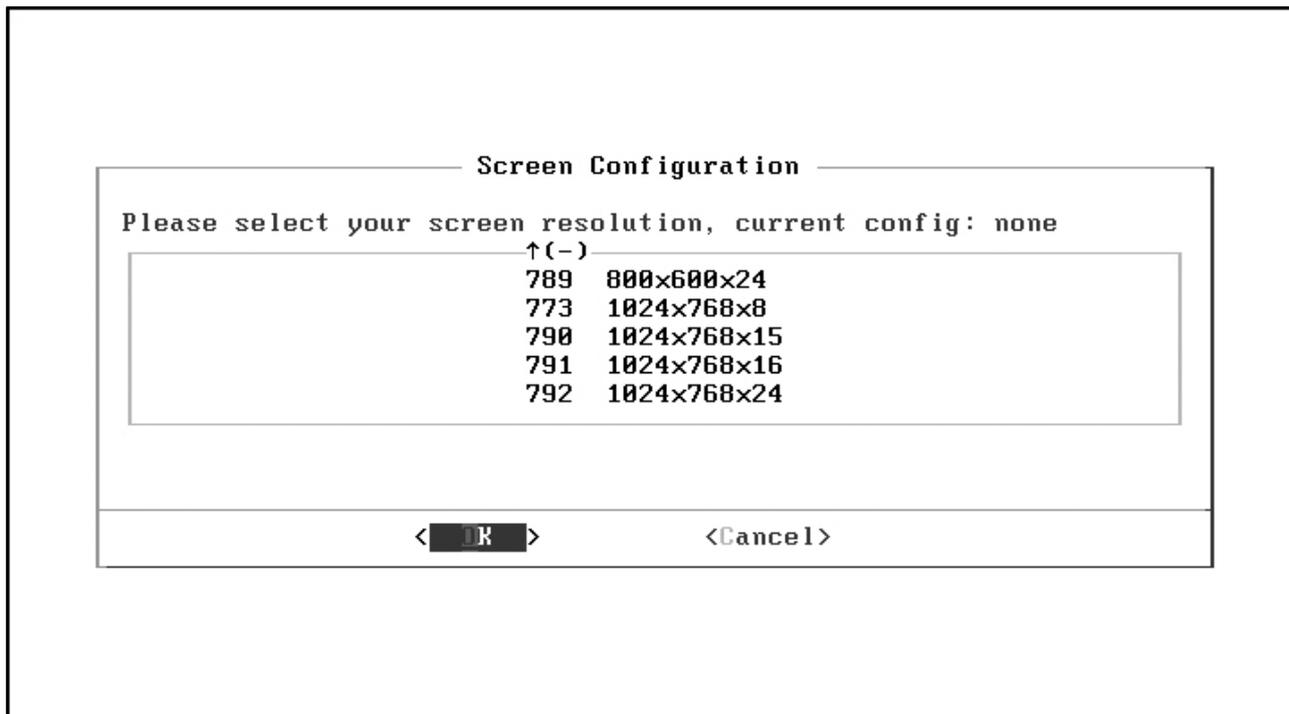
では、次ページからマイナーOSの紹介をしていきたいと思います。

起動が完了すると以下のような解像度を選ぶ画面が出ます。

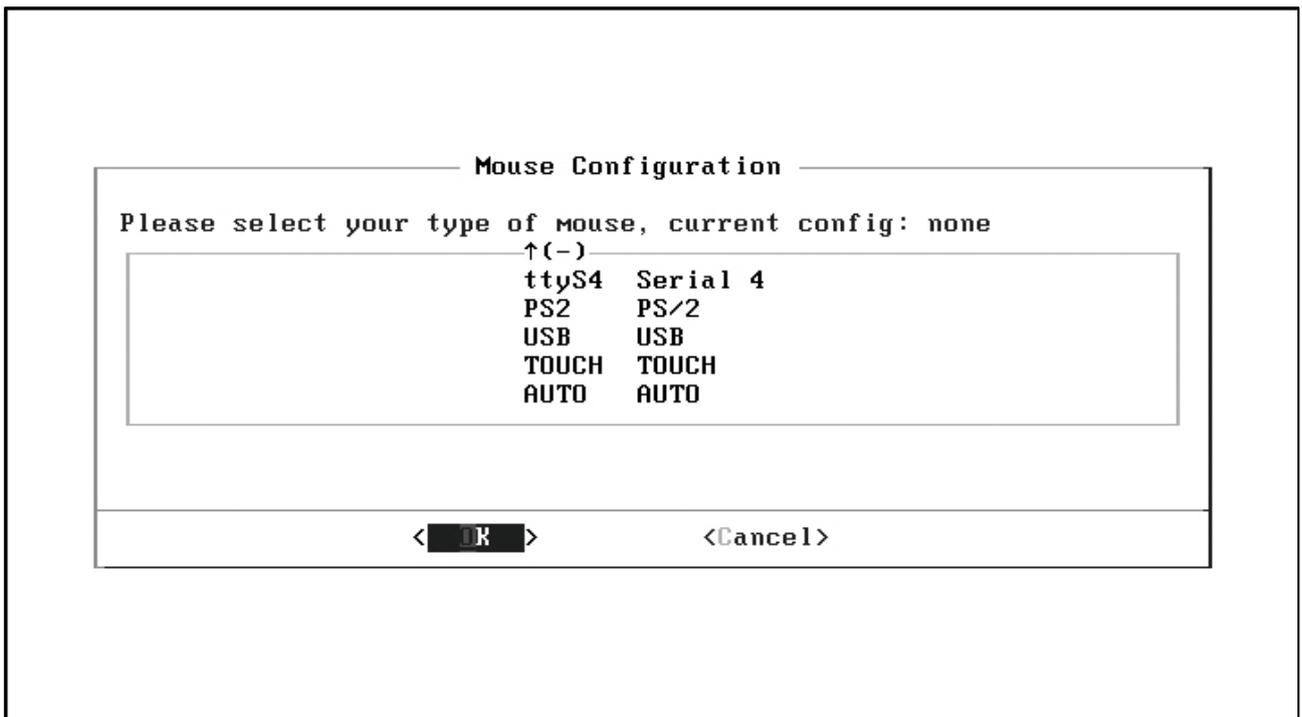
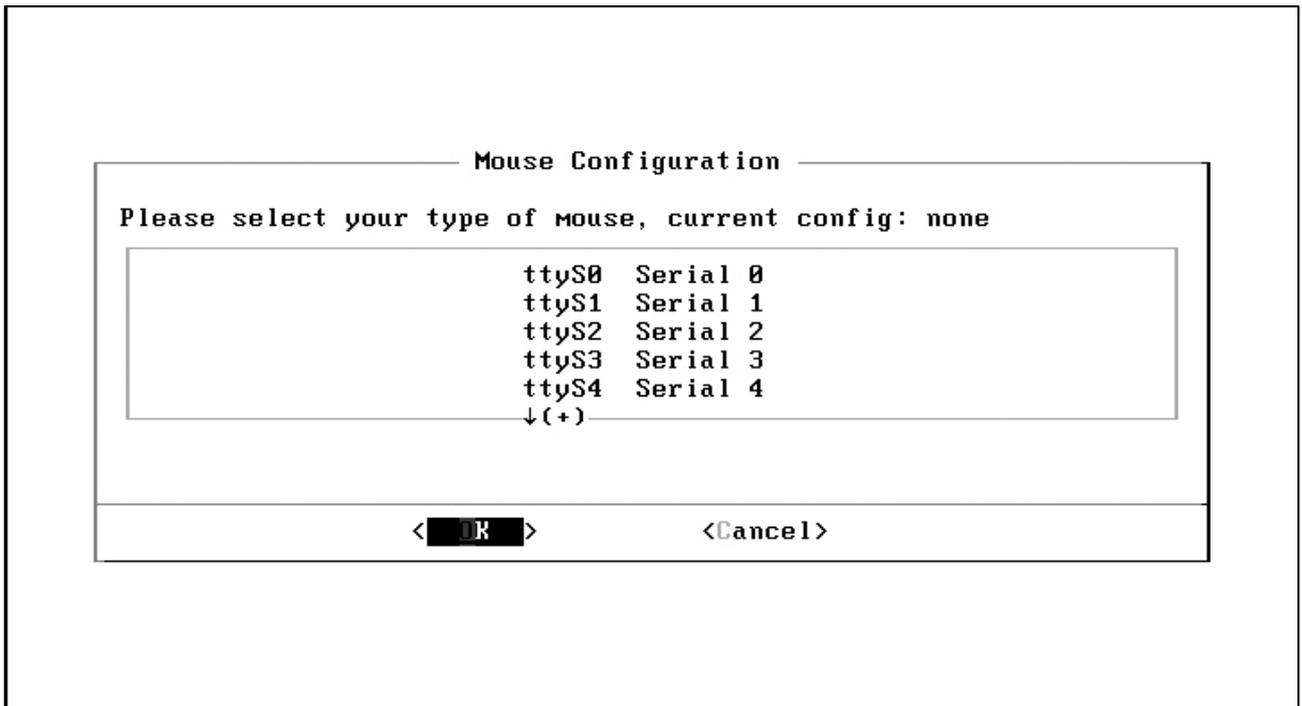


※実際はカラーですが見易さ優先で色は変えています。

なお解像度は1024x768x24bitまで選べるらしく、実際最大解像度であっさり起動できました。

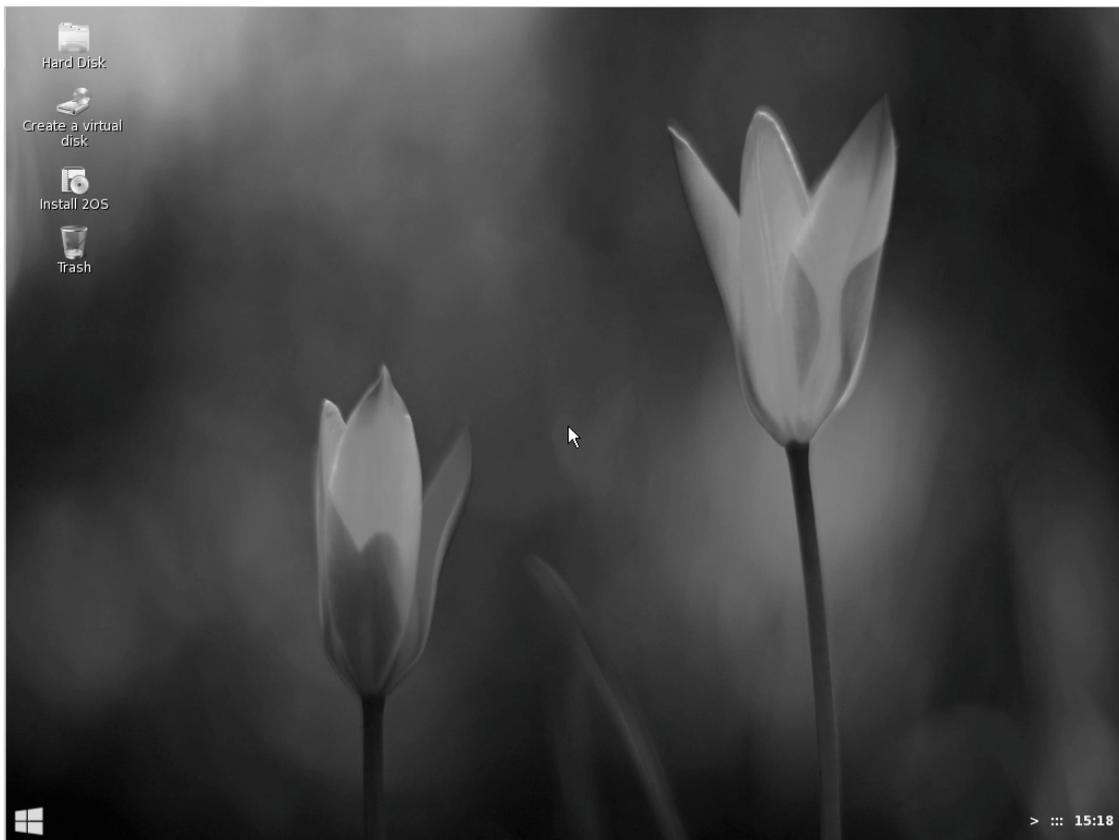


解像度選択の後はマウス設定の選択画面が出ます。



一番下にAUTOとありましたので、まずはこれを選択します。
あっさり認識はしており問題なくマウス、キーボード等は使えました。

画面解像度設定とマウス、キーボード設定を終えるとGUIが起動してきます。
この時点ではいわゆるCD-ROMからのLive起動になります。

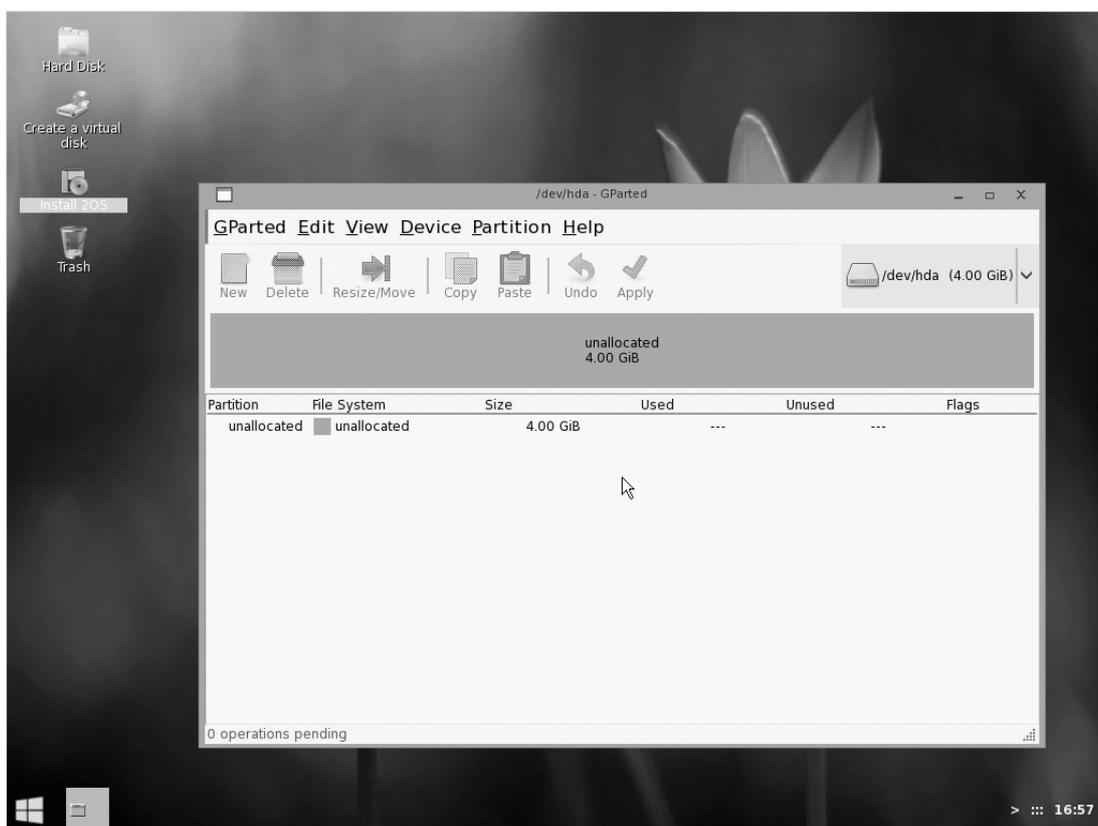


3つ目の「Install 2/OS」というアイコンをダブルクリックするとHDDインストールが起動します。

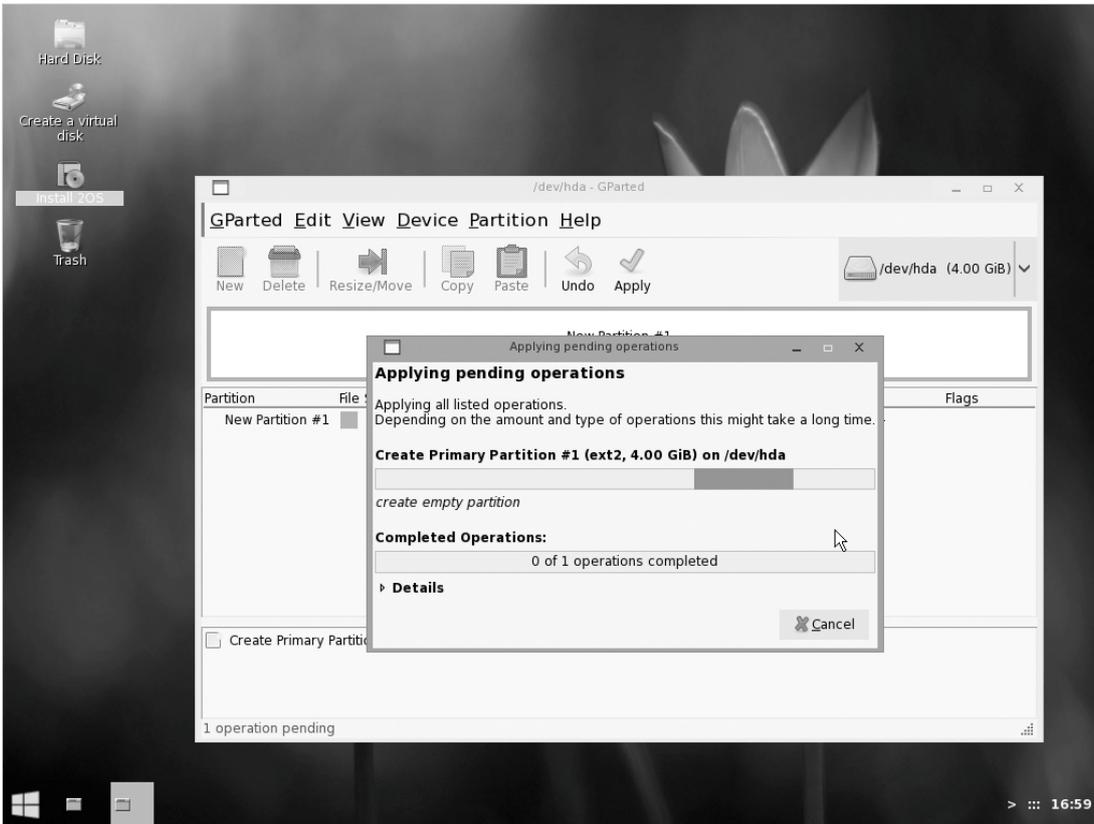


なお、Make Live USBというのがあるのですが試していません。
何かしらのGNUツールを使っているのだと思いますがきちんと裏取りしていません。ArchisoとGUIラッパーなの
でしょうか。

以下、Partitionボタンからパーティションの設定を行うことができます。普通にGPartedが起動してきます。



パーティション設定を終えて



再び冒頭のボックスになんらかの指定を行えばインストール可能でした。
当方は単純に「2」だけ入力したらインストールが始まったので何らかの共存インストールなどを想定しているのでしょうか？

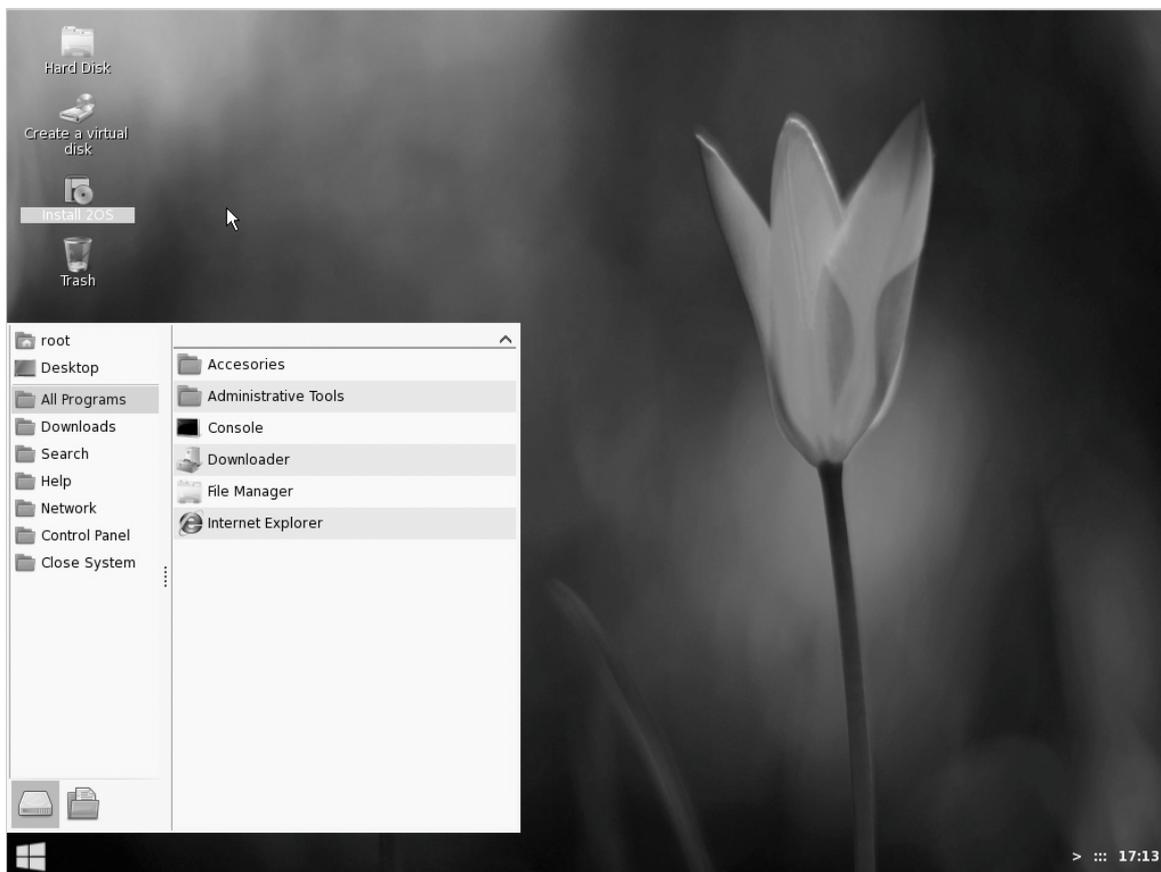
(/とかでもいいのか細かいところまで検証していません。すいません。)



インストールが完了すると以下の完了メッセージが表示されます。



再起動後です。



メニューバーの中に「Internet Explorer」があったりするあたりは独特ですね。
これ以外にも「Windows Application」という項目があったりとかなりWindowsアプリケーションを使うことを意図した構成になっています。

本来であればさらにWineの設定やWindowsアプリケーションがどの程度動くのかといったことも試したかったのですが、時間がとれず単純にインストールを試みただけになってしまいました。

2. classios

<http://www.petros-project.com/index.php/products/classios.html>

過去にTrumpet Softwareというところが開発していたPetrOSというOSがあるのですが、これを引き継いだ会社が、Object PascalでPetrosを書き直したものの、とのこと。

なお、PetrOSは一応商用OSでして、以下から購入可能なようです。ためしに入手してみようかしら。。。

<http://www.petros-project.com/index.php/products/petrosr.html>

ただ、本OSは2008年ごろにはリリースされているのですが、その後特に進展はないようです。VMWareで起動と現在利用可能な「dir」「type」「cd」「exit」と、同梱されているHELLO.EXEが動くのはかろうじて確認しました。

- ・cdは移動先ディレクトリがないのでコマンドが通るといっだけ。
- ・exitも別に何も起こらない。SHELLを手動で起動したらそのシェルは終了したりするのもかも。
- ・typeはTEST.TXTが同梱包されてるので一応動いてるのを確認できます。

まずは起動画面です。単純にISOイメージからの起動で問題なく立ち上がりました。
さりげなくIPv6アドレスが表示されたりしていますが対応させるつもりなのかなというところ。
一応Cドライブは認識しているようですが、基本的にはライブCDのような挙動です。

```
ClassIOS Boot Loader. Copyright (C) 2006, Tattam Software Enterprises Pty Ltd.
Physical memory: 0002A000-1FEF0000
Drive 00 CHS = 80/2/18 Sectors = 2880
FAT12: 2880 total sectors, 1 sectors/cluster, 2847 clusters.
ClassIOS Kernel.
Physical memory: 0005F000-1FEF0000
kernel heap: 236 Megs
PCNET not found.
IP: unable to attach packet driver.
IPv6 link local address = fe80::200:ff:fe00:0
add route fe80::/64 :: 0
  0 fe80:: fe80::ffff:ffff:ffff:ffff 64 1 0
net setup: 0.0.0.0 255.255.255.0 0.0.0.1 0.0.0.255
ATA Drive 0: CHS=8322/16/63, 8388608 total, LBA, 32 bit.
ATAPI Drive 2, 32 bit.
drive C: raw 131
drive E: CDFS
ClassIOS shell. Copyright (C) 2008, Peter R. Tattam

e:\>_
```

冒頭に記載したとおり、ダウンロード元サイトのフォーラムに情報があつたとおり、可能な限りのコマンドだけ試してみました。

```
e:\>dir
Directory of e:\
<DIR>          .
<DIR>          ..
               5,120 ADVAPI32.DLL
               6,144 HELLO.EXE
            19,968 HELLO32.EXE
               8,192 KERNEL32.DLL
               4,096 OLEAUT32.DLL
            51,200 SHELL.EXE
                41 TEST.TXT
               5,120 USER32.DLL
                8 File(s)          99,881 bytes
                2 Dir(s)

e:\>type test.txt
this is a test file.

some test data.

e:\>cd
e:\
e:\>_
```

```
               5,120 USER32.DLL
                8 File(s)          99,881 bytes
                2 Dir(s)

e:\>type test.txt
this is a test file.

some test data.

e:\>cd
e:\

e:\>HELLO.exe
hello world!!!

e:\>HELLO32.exe
[1] Hello Win32 World!!!
[2] Hello Win32 World!!!
[3] Hello Win32 World!!!
[4] Hello Win32 World!!!
[5] Hello Win32 World!!!
this is a test file.

some test data.
classios>_
```

開発元が一応Developerなのでもう少し進展があるとうれしいのですが、コミュニティとしてもそれほど活発ではなくこれ以上の開発は進んでいないのか、公開されていないのか、というところです。



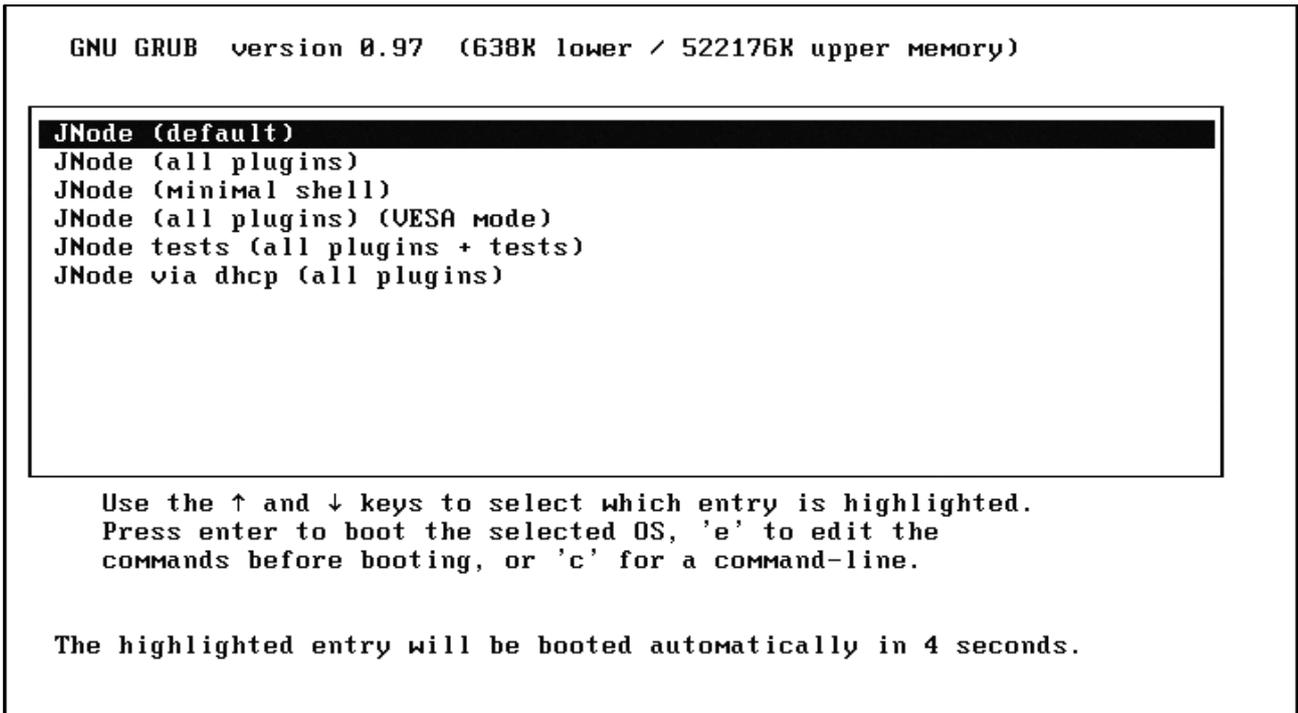
3. JNode

<http://www.jnode.org/>

Java New Operating System Design Effortの略称とのこと。
比較的メジャー目？のマイナーOS(という言葉がヘンですが)
ではありますが、リリースは2009年が最後のようで。。。

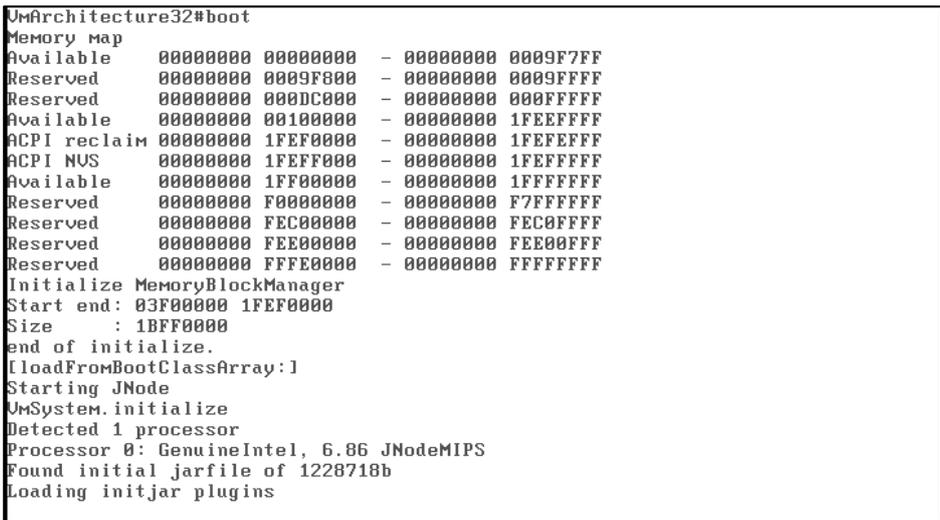
Apacheソフトウェア財団が開発元となっていますがWikipediaからの引用だったりするので正確性を保証するものではないです。

ISOから起動すると以下のGRUBのメニューが出ますが、Defaultだと起動せず、真っ暗い画面のまま応答がなくなっていました。



オフィシャルサイトを見るとVMWareイメージもあるのですが、なんかVMWare用には作業が必要な模様。毎度申し訳ありませんが時間が足りず、動けばそれなりそうなのですが十分な試験ができず残念でした。

一応「all plugin」で起動させたときのスクリーンショットだけ載せておきます。



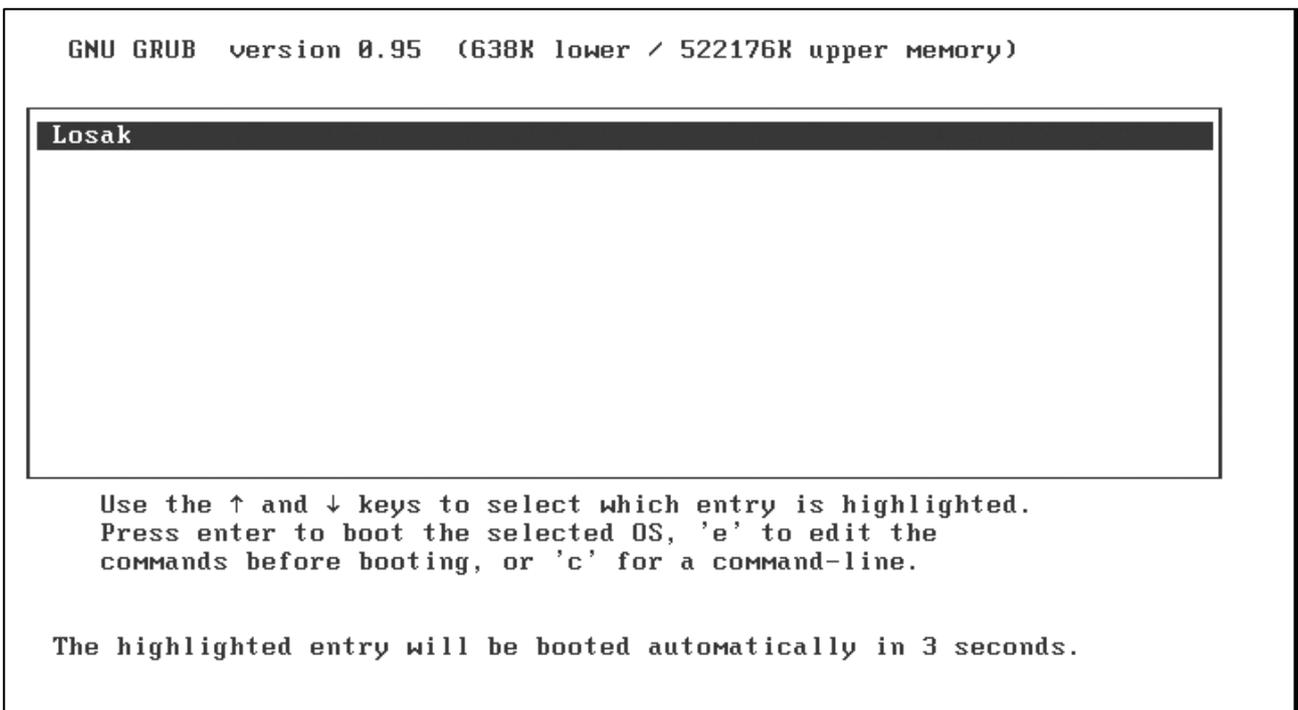
GUI]ばいところまでは来たのですが、これ以降応答がありませんでした。なお本来は真ん中の部分は濃い青に白文字ですが反転しています。



4. Lisp Operating System

<http://losak.sourceforge.net/>

Lisp Operating System, Abstraction Kernelというのが正式名称のようです。(URLは略称のlosakのようです)



起動後は正直あまりコマンド実装もなく、ログイン後プロンプトに表示されるメッセージに従い、可能なコマンドのみ実行しました。

```
Loaded with 26520052 free cons cells.
Arguments: /boot/grub/kImage
Omar's Lisp Operating System, release 20121006.
System running. Type ":h" for the help menu.
expr 0> _
```

```
Loaded with 26520052 free cons cells.
Arguments: /boot/grub/kImage
Omar's Lisp Operating System, release 20121006.
System running. Type ":h" for the help menu.
expr 0> h
expr 1> :h
0: ()
Commands:
  :h - display this help menu
  :l - display license information
  :q - quit
  <EXPR> - evaluate the expression <EXPR>
expr 1> _
```

```
  :l - display license information
  :q - quit
  <EXPR> - evaluate the expression <EXPR>
expr 1> :l
Commands:
-  :h - display this help menu
  :l - display license information
  :q - quit
  <EXPR> - evaluate the expression <EXPR>
expr 1> :l
Omar's Lisp Operating System, release 20121006.
Copyright (C) 2004 - 2012 by Omar Jarjur

This program is free software. You can redistribute it and/or modify it under the terms of version 2 of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330, Boston, MA 02111-1307 USA
expr 1> _
```

いわゆる起動オンリーのToyOSのようですが、もう少し変化が見られればよかったですね。。。

5. LynxOS

<http://www.linux.com/products/real-time-operating-systems/lynxos-rtos/>

Lynux Works社が販売、サポートしているUNIXライクなリアルタイムOSです。

以下のような特徴があります。

POSIX準拠

UNIX互換性

ハードリアルタイム性

Linuxとのアプリケーションバイナリ互換性(同一プラットフォームの場合)

マイクロカーネルアーキテクチャ商用UNIXですが厳密にはPOSIX互換になったのは途中からのようです。

Linux互換はVersion4あたりから開始したようです。

現在のVersionは7ですが、Version4のデモ版を持っているので今回こちらで扱いました。

Version7の試用版についても現在入手予定ですので、入手したら改めて1記事として執筆予定です。

以降基本的に全て白黒反転させています。

CD-ROMから起動します。

```
LynxOS Preboot 4.0.0Ev1 build 021002-G created Wed Mar 27 18:24:29 PST 2002
Copyright (C) 1987-2001 LynuxWorks, Inc.
auto-boot CD-ROM in 5 seconds
Command? <b ide.1 /lynx.os>_
```

起動したら「installit」コマンドでインストールを実施します。

```
LynxOS 386/486/Pentium PC-AT Version 4.0.0Ev1
Copyright 1987-2001 LynuxWorks, Inc.
All rights reserved.

This is a demonstration copy of LynxOS.
Please abide by all specified limitations of use.

LynxOS (x86) created Wed Mar 27 18:19:31 PST 2002
```

```
# installit_
[0]
```

インストールが始まります。

```
Beginning Installation
Extracting Development OS from the IDE CD-ROM drive (ide.2).
(/tar_images/18000.devos.tar.gz)
[0]
```

簡易な操作説明などが表示されます。

```
Welcome to the LynxOS Installation Utility!

This script gathers all of the information needed to install
LynxOS on your particular hardware. It obtains this information
by presenting several menus for you to complete. If you are
unsure about a menu option, please refer to the Installation
Guide or choose the help option if one is available.

You may quit the installation by selecting 'Q' during any of
the menus or by typing '<Control>-<C>' at any time. If installit
is interrupted before successful completion, you will need to
run it again.

IMPORTANT NOTE: Before proceeding with this installation, you
should backup all user and data files on your system. If you
have a previous version of LynxOS, refer to the Installation
Guide for a list of some important files that should be backed up.

NOTE: Some products are distributed on additional media. If you enable
additional product installation, you will be prompted to insert
additional product media. Please refer to the Installation Guide
for more details on the additional product installation.

Would you like to proceed with the installation? (y/n) [Y] _
[0]
```

メインメニューから1を選択して、設定を必要に応じて変更します。

```
*** Main Menu ***

1) Modify Default Values
2) Choose Products to Install

Please make sure the Default Values and Products to
Install are correct before Beginning the Installation.

B)egin Installation
Q)uit Installation

Enter option: [1] _
[0]
```

デフォルト設定変更画面です。基本的にはインストール元とインストール先を修正することがあるかも、という程

度で、その他の値は変更する必要はないかと思ひます。
当方2台目のディスクにインストールしたため2の値の変更が必要でした。

```
*** Modify Default Values Menu ***

1) Install From:          IDE CD-ROM (ide.1)
2) Install To:           IDE Hard Disk (ide.0a)
3) System Parameters:    default
4) Virtual Memory:       no
   Swapfile name / size:  N/A / N/A
5) Device Drivers and
   Driver Related Features
6) Date, Time and Time Zone

Q)Quit Installation
R)Return to Previous Menu

Enter option: [1] _
[0]
```

タイムゾーンなどは必要に応じて変更する形になります。

```
*** Modify Date, Time and Time Zone Menu ***

1) Date:                  2006/06/29
2) Time:                  14:43:00
3) Use TZ environment variable: no
4) Time Zone:             480 minutes east(-)/west(+) of Greenwich
5) Daylight Savings Type: 1 (USA)

Q)Quit Installation
R)Return to Previous Menu

Enter option: [1] _
[0]
```

インストール前の最後の注意画面です。

```
*** Final Installation Menu ***

Continuing now will result in the loss of all data on
the IDE Hard Disk (ide.0a)!

C)ontinue installation
Q)uit Installation
R)eturn to Previous Menu

Enter option: [R] _
[0]
```

インストール自体は特に問題もなく完了しました。

```
touch: /etc/mtab: Read-only file system
Mount all filesystems? [y]
user name:root

*****
*
*      @@@@                      @@@@@@@@    @@@@@@@@    *
*      @@@@                      @@@@  @@@@  @@@@  @@@@    *
*      @@@@      @@@@      @@@@      @@@@@@@@  @@@@  @@@@  @@@@  *
*      @@@@      @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@@@@@  *
*      @@@@      @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  *
*      @@@@@@@@@@@@  @@@@@@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  *
*      @@@@@@@@@@@@  @@@@      @@@@  @@@@  @@@@  @@@@  @@@@@@@@@@  @@@@@@@@@@  *
*
*      @@@@@@@@
*      @@@@@@@@
*
*
*
*      Welcome to LynxOS
*      ( 4.0.0 Evaluation Version: 021802 - G )
*
*****
#
[0]
```

以降についてはスクリーンショットを取りきれれておりませんので文章にて。Version7入手後に改めて。。。

通常は1台目のディスクにインストールするでしょうからあまり関係ないと思いますが、
当方2台目のディスクにインストールしたため、Grubから
root(hd1,0)
chainloader +1
boot
にて起動しました。起動すると、secondary configurationが始まり、
/etc/hosts
/etc/fstab
/etc/exports
についての説明が順番に表示されます。
その後secondary configurationが完了したことが表示され、Enterキーを押して再度Rebootをするように指示
が出ます。

再度rebootすると、今度はLynxOSが起動します。user nameは、rootでノンパスでログイン出来ます。

特徴:

Evaluation Versionということで、120分間しか起動しません。2時間つけっぱなしにしてみたことがないのでなんとも言えませんが、Readmeを見ると自動的に再起動するようです。

また、5分おきに、

```
Beginning Installation
***> DEMONSTRATION KERNEL: 100 minutes of life left before reboot
[0]
```

DEMONSTRATION KERNEL:xxx minutes of life left before reboot
というメッセージが出ます。上記はインストール中の画面ですが延々表示されます。さすがにちょっと邪魔ですね。。。

rootでログインすると、いわゆるrootのHomeは「/」になるようです。cshrcもあるので、デフォルトシェルはcshでしょうか。また、/binに、bash、csh、tcsh、があります。/bin配下をみると、一通りのコマンドはそろって居るので、いわゆる体験版として使用するのに困ることはないのではないのでしょうか。
また/bin配下をざっと見た感じと、GNU Toolchainがあるよと記載されていることから、一応一通りの開発環境はそろっているようです。

デフォルトでNFS、telnet、ftp、sambaがインストールされており、もともと組込み機器開発用ということもあって、セキュリティ的には若干弱い部分もあるかと思います。(たとえばsambaはinetd.confにエントリがあるが有効にはなっていない)
inetdスーパーデーモンや、tftp、talk、telnet等のdaemonプログラムは、/netと言うディレクトリがあってその中に入っている模様です。

X関係は、ライブラリはあるようですが、バイナリや設定ファイルの類はありませんでした。別途導入する必要がありそうです。このヘンは試用版ならではの制限ではないかと思います。
vmstatや、freeあたりの管理コマンドはありませんでした。このヘンも試用版のせいなのかどうなのかはわかりません。

といったところです。
最新版入手できましたらまたチャレンジしたいと思います。

マイナーOSコレクション

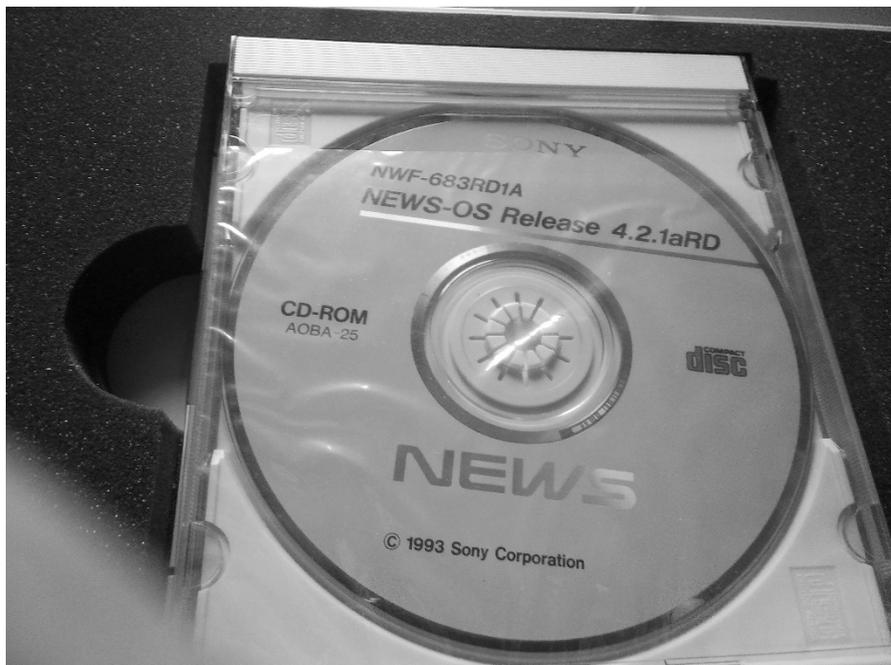
新コーナーというほどではないのですが、当方の持つマイナーOSのパッケージとかの写真です。また、たとえばマイナーOSとかどちらかというOld UNIXとかになるかもしれませんが、お持ちの方からの情報提供につながるかしら？という側面も考えまして、今回からはじめさせていただきました。

とはいえ当方もそうそう沢山持っているわけではないので、まああるだけ載せたら終了になりますが。

写真、画像データ、などでもご提供して下さい方お待ちしております。

1.SONY NEWS

OS、ドライバ、フォントセット(基本、拡張)を所持しています。当然ながらHWがなく、単に持っているだけの状況です。



本来はHWバンドルだったので、CD-ROMにドライブ用のトレイも付いています。

2.BANYAN VINES

当方はこのVINESというものが使われていた時代は存じ上げないのですが、基本的にはNovellの前にディレク

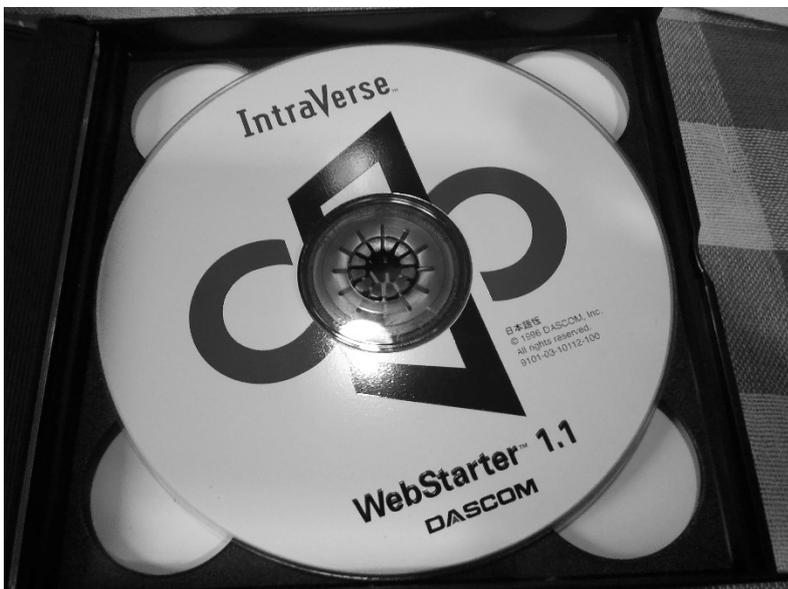
トリーシステムを用いてファイルサーバ、メッセージャーなどを構築するためのサーバだったと聞いています。



掲載しているパッケージは実はOS,サーバ側ではなくクライアント側ソフトウェアと、Version6.x台用のパッチだけだったりします。

3.DASCOM IntraVerse WebStarter

SECOMが販売していたWebベースのサーバを構築するためのキットのようです。





元箱全景。後ろに見えるAMAZON箱は気にしないで下さい。



5.EPSON PC-286シリーズ用日本語Disk BASIC

急に写真がショボいですがPC-286用のDiskBASICです。

過去にEPSONの286機を持っていたのですが、その際のものです。

なお、本体はだいぶ昔に、視聴覚障害の方に譲ってほしいといわれましてお譲りしました。

当時視覚障害の方向けの読み上げソフトが一番きちんと動くのがEPSONのものだったとかなんとか
(詳細は存じ上げませんが。。)



というわけで、今回はこのへんで。

他はTru64UNIX/Digital UNIX、IRIX、SunOS、AIXあたりの一部現行品も含めたUNIX OS系を中心に掲載しようかと思っています。

あとは(これは数はたいしたことないですが)各種異種アーキテクチャのサーバ、WSあたりも。。

マイナーOS関連 活動紹介

・活動コミュニティ

Mixi:

http://mixi.jp/view_community.pl?id=550392

GoogleGroups:

<http://groups.google.fi/group/osmanix>

もろもろあってMixiにもほとんどログインしていませんが、コミケ参加などはなるべくアナウンスしています。
Google Groupsもあまり活動的にはできていません。

Far Northern Other World マイナーOSコンテンツ

<http://fnow.org/>

最近、ようやくマイナーOSリストを少しずつ更新を始めました。

・参加イベント等

かなり時間が空いたのですが、今後コミックマーケット、及びコンピューター関連の即売会が開催されれば、極力参加を再開したいと思っています。

マイナーOS本作成以外の活動ももう少しやってみたいとは思っていますが、良い企画がなかなか思いつかず、基本的に本書の頒布と、マイナーOSデータベースの更新が主要な活動となっています。

既刊のご案内

Operating System Maniacs Version 1



2006年夏:Ver1.0 2008年夏:Ver1.1 発行

A5サイズ/オフセット/44P 300円

主なコンテンツ:

【悲運の正統UNIX】UNIXWAREを語る (りろ@涅槃)

SSS-PCを動かしてみる

【悲運の先端OS】OS/2～eComStation (りろ@涅槃)

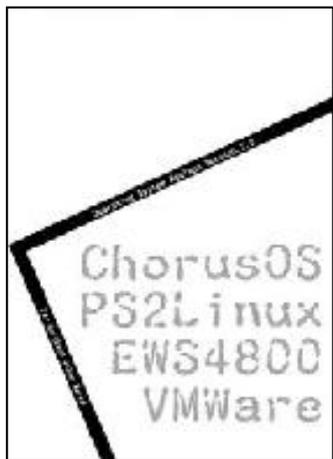
QNXのインストールと環境設定 (立神梢一)

【マイナーOS】SkyOS Beの遺伝子を受け継ぐ「なぜこぜ」OS (りろ@涅槃)

記念すべき第一号。Webで知り合った、マイナーOSの同志、りろ@涅槃氏にもご寄稿いただき、それなりのボリュームになった。当方はSSS-PCとQNXのインストール、設定記事を執筆。

実際の表紙は、用紙:アトモスブラック インク:薄い茶 となっています。

Operating System Maniacs Version 2



2007年夏:Ver2 発行

A5サイズ/オフセット/44P 300円

主なコンテンツ:

ChorusOSを動かしてみる (立神梢一)

PS2LinuxをDVD-ROM無しで起動する (立神梢一)

マイナーOS求む (立神梢一)

NEC国産OSへの鎮魂曲 (りろ@涅槃)

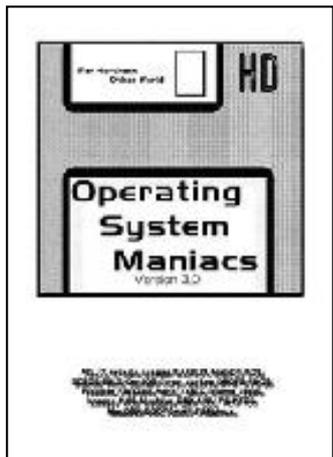
OSとしてのVMWare ESX Server (りろ@涅槃)

長い間の悲願であった、Chorus OSの導入記事と、いまさら感が漂いますが、PS2Linuxの導入記事を掲載しています。

りろ@涅槃氏にも前号に引き続きご寄稿いただきました。

実際の表紙は、用紙:色上質サーモン、インク:赤 となっています。

Operating System Maniacs Version 3



2007年冬:Ver3 発行

A5サイズ/オフセット/44P 300円

主なコンテンツ:

Intel MacminiでマルチOS/マルチブートの試み (りろ@涅槃)

PS2 Linuxをいじってみる ちょっとだけ後日談 (立神梢一)

PTOSと過ごした80年代 (りろ@涅槃)

マイナーOS駆け足レビュー (立神梢一)

(AELIX/artasia/asagao/BARBUX/blairOS/BOS/BOZOS/BRIX/ContOS/coron/Darkos/DROPS/FDOS/Freedos/FRITZOS/Hanoi/Idioma/jxOS/knasos/KOS/Moubius/QNX/UUU)

本号から駆け足レビューを開始。とにかく数を紹介したいとの考えからでした。

実際の表紙は、用紙:色上質水、インク:藍 となっています。

Operating System Maniacs Version 4



2008年夏:Ver4 発行
 A5サイズ/オフセット/52P 300円
 主なコンテンツ:
 グランドピアニストにもっと巧く演奏させよう(ZETA Live CD) (SHINTA)
 OS9000/80386 DemoFloppyをPCで動かしてみる (立神梢一)
 マイナーOSを実用化する (りろ@涅槃)
 マイナーOS駆け足レビュー PartII (立神梢一)
 BugOS/POSYS/proolix/Roadrunner/runt/scaraOS/SMUGLYOS/ShagOS/SORA/spoon/SUNRISEOS/threx/Triangle/ZOFTOS/μOS
 BeOS系アプリケーションの開発等で活躍しているSHINTA氏からご寄稿いただき、いつもより増ページとなりました。りろ@涅槃氏も皆勤でご寄稿いただき、ありがたい限りです。

実際の表紙は、用紙:アトモスレッド、インク:あずき となっています。

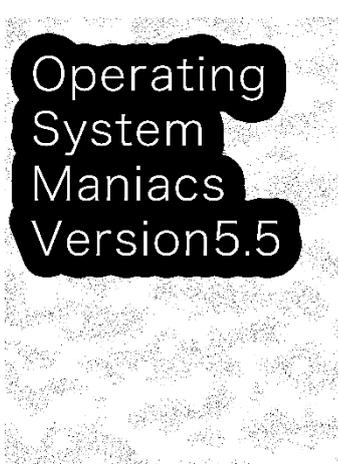
Operating System Maniacs Version 5



2008年冬:Ver5 発行
 A5サイズ/オフセット/32P 300円
 主なコンテンツ:
 90年代の幻影を求めて AmigaOSの香りを今に伝えるSyllableを試す(りろ@涅槃)
 マイナーOS駆け足レビュー PartIII
 bgbssystem/MDF/PJOS/RadiOS/SARTORIS/Tesoro OS/tijos/tizozos/tOfuS/Torison/
 trion/TYROS/viridis

このころから時間が取れなくなってきて、ちょっとページ減しています。
 ネタはゲップするほどあるんですが、こなす時間が無いのがつらいですね。。。
 表紙は色上質特厚若草、インクは黒、本文はさくら/インクは黒となっています。

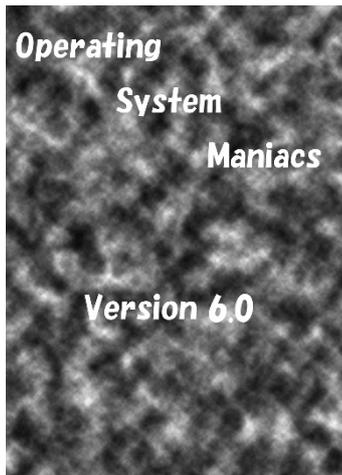
Operating System Maniacs Version 5.5



2009年12月30日:Ver5.5 発行
 A5サイズ/コピー/24P 300円
 主なコンテンツ:
 マイナーOS駆け足レビュー Part4
 VSTa、MikeOS、DS Linux(2009年夏のコミックマーケット時にペーパーとして配布したものの再掲)

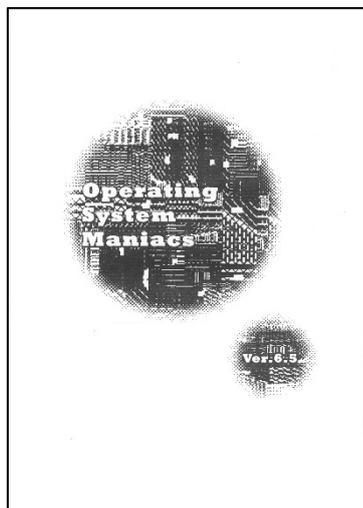
オフセット印刷で発行できずついにコピーになっています。

Operating System Maniacs Version 6.0



2010年夏:Ver6.0 発行
A5サイズ/コピー/24P 300円
主なコンテンツ:
マイナーOS駆け足レビュー Part5
AROS、HAIKU、HOUSE

Operating System Maniacs Version 6.5



2011年夏:Ver6.5 発行
A5サイズ/コピー/32P 200円
主なコンテンツ:
マイナーOS駆け足レビュー Part6
BlueBottle、MINIX3、infortus-os

DVD版

Version1～6.5 + おまけファイル等で構成されています。

基本的にはPDF版の各Versionと、それぞれで実験したOSのファイルを同梱しております。

既刊については1号、4号、6.5号を除いて在庫僅少もしくはナシ、となっています。今後は既刊は定期的にデジタルデータとしてご提供する予定です。

原稿募集要項

立神梢一

Operating System Maniacsでは、常時、原稿を募集しています。

マイナーOSの導入/環境構築記事

旧UNIX系OSの紹介記事

マイナーOSの紹介記事

異種アーキテクチャへのLinux/BSD系OSなどの導入/環境構築記事

現在/過去のOSに関連する業界動向

特定OSへの偏愛を吐露するコラム

等々。。。

ただしマイナーOSと銘打っている以上、できるだけ、以下のOSについては触れないつもりでいます。

1. Windows 特に2000以降
2. x86用のLinux 特に有名ディストリビューション
3. MacOS 特に9.x及びX

無論、たとえばマイナーなアーキテクチャへの導入関連や、マルチブート環境、エミュレータを使ってのお遊び、などであれば大歓迎です。

あるいは組み込み用OSをいじるケースなどでは、母艦がWindowsということもあるでしょうし、そういうケースは当然ながら特に問題ありません。

実際にはそんなに厳密な決めではないのですが、一応マイナー系OSということ意識するために上記のようにしています。

また、旧Versionで面白いことが出来るケースもあるかなと思ひ、特に1と3については上記のようにしております。我もと思ひ方は、是非ご参加ください。

また、原稿ということでもなく、情報提供、レビューのリクエスト、素材の提供等も歓迎いたします。特に以下のものについては、入手困難なこともあり、大歓迎いたします。

- ・ハードウェアはない、あるいは導入予定はないが、古いOSのインストールメディアを所持している。
⇒たとえば、EWS-UX、NetWare、SCO UNIX、Banyan VINES、、、など
- ・逆に、OSは持っていないが古いハードウェアを所持している。
⇒SONY NEWS、EWS4800、BeBOX、、、など

その他、NWアプライアンスの搭載OSについての考察や、ポータリング情報等も歓迎いたします。

また、原稿と言うことでなくても、記事内容に間違い等がございましたら、ご指摘いただけますと幸いです。

主にWordでのレイアウトまで含めた原稿か、テキスト+画像でこちらでレイアウトする形になるかと思ひます。(画像挿入位置は個別で指定)

ただし、ページ構成上の都合や、全体のフォント、サイズ合わせ等で若干の変更をさせていただく場合があります。(その場合は変更後の確認をお願いした上で変更します)

詳細は奥付、または活動コミュニティなどへお願いいたします。

編集後記的な

かなり時間が空きましたが、なんとかものを作るぶんにはなんとか作れたので復帰の第一歩ということで。。。以前からの実験したいネタもまだありますし、こつこつ1つずつでも公開できればと思います。

初心に戻って、せっかく入手したAIXの7.0とか、今後入手予定のLynxOSの7.0の試用版とかなるべく積極的にいろいろさわっていきたいと思っています。

個人的ないろいろですが、とりあえず最近はZ800を購入しました。まだ全然環境が整ってませんが、いろいろ年末年始で片付けられれば。。。。

NW機器に関してはちょっとひと段落で、また何かしらの大型EOSとかのタイミングでオークションとか漁ろうと思っています。シャーシ式のNW機器とかはさすがに入手しても活用が難しいので。。。。

立神梢一

奥付

Operating System Maniacs Ver7.0

発行:「Fnow」

〒113-0034

東京都文京区湯島3-37-4

ゲーベラ天神8F

佐藤誠之(立神梢一)

<http://fnow.org>

makoyuki@fnow.org

印刷

秋葉原製作所

2014/12/30発行(コミックマーケット87)

「Operating System Maniacs」

Far Northern Other World